

DOME:特集名一覧

[1992-2000](#)
[2001-2006](#)

年	月	号	特集名
1992	4	1	特集: 今、起こりつつある波
	6	2	特集: セルフ・ガイド: 自分流アートじゆつのおすすめ
	8	3	特集: 等身大のワークショップ
	10	4	特集: 2つのシンポジウムを巡って1: 日本ドイツ美術館教育シンポジウムと行動1992「街から美術館へ・美術館から街へ」DOME式ドキュメント
	12	5	特集: 2つのシンポジウムを巡って2: 美術館教育普及国際シンポジウム「市民と美術館」DOME式ドキュメント
1993	2	6	特集: 二つのシンポジウムを巡って3: 美術館教育普及国際シンポジウム「市民と美術館」DOME式ドキュメント
	4	7	特集: 展覧会の思想
	6	8	特集: 心身障害者とミュージアム
	8	9	特集: 子ども論: 「ウゴウゴ・ルーガ」から「モモ」まで、子どもと芸術をめぐる物語
	10	10	特集: 文学館に行く
	12	11	特集: ワークショップと造形遊び
1994	2	12	特集: 日本美術の読み方
	4	13	特集: 美術品のお医者さん: 保存・修復のレッスン
	6	14	特集: 海外のミュージアムにタッチする
	8	15	特集: 発言するミュージアム建築 ここでは味わえないな、この感じ
	10	16	特集: 問われはじめた「私たちの美術や美術館」像: 美術ジャーナリズムと美術館
	12	17	特集: ミュージアム・グラフィックス いい顔は心がけしたい。いい顔してる? ミュージアム!
1995	2	18	特集: ミュージアムにおける、言葉の役割について考える: ミュージアムと言葉
	4	19	特集: ワークショップという作法
	6	20	特集: とんでもなく素敵な、美術教師たち: 学校とミュージアム、どんどん開け可能性の芽
	8	21	特集: マルチメディア時代の、ミュージアム像
	10	22	特集: 見世物小屋から美術館へ: 日本の「美術」・「美術館」事始め
	12	23	特集: あの街この街で、広がる試み、美術館教育
1996	2	24	特集: 展覧会のバースディ: 担当学芸員に聞いた、展覧会の誕生秘話
	4	25	特集1: 博物館の底力: 戦後の新博物館構想は、満州から始まった。40万人の観客が見た「死体」/ 特集2: 国家が美術館を支配した日: 30年前に行われた、公立美術館攻撃
	6	26	特集1: 子どもとミュージアム考/特集2: シンポジウムを追いかけて: ロンドン、ダリッチ・ピクチャー・ギャラリーの奇跡
	8	27	特集1: インターネットで深夜に授業、インターネットで展覧会/特集2: アート・ドキュメンテーションの現在形: これが文化庁が提案する「分散型」文化財情報システムだ
	10	28	特集1: 日本美術、再見/特集2: 学校の「図工・美術」が消滅する?
	12	29	特集1: 東北、文学紀行/特集2: パソコンを使って「私のむらの美術館づくり」
1997	2	30	特集1: 緊急討議、これでいいのか? 「学芸員問題」/特集2: 「博物館法」施行規則改定の問題点を探
	4	31	特集: 展覧会のオムニバス
	6	32	特集: シンポジウムの楽しみ方: 世田谷美術館で行われた話題のシンポジウム、「神話を超えて/アート・美術館・表象の21世紀を問う」誌上ドキュメント
	8	33	特集: これがヴァーチャルミュージアム
	10	34	特集: 地域博物館について考える: 国際交流基金アジアセンター・神奈川県立歴史博物館共催「アジア地域博物館フォーラム」ドキュメント
	12	35	特集: 子どもミュージアムドキュメント
1998	2	36	特集: ここまでできる! 最新ミュージアム・エデュケーション
	4	37	特集1: 最新、ミュージアム・エデュケーション、第2弾 上野の森で何が起こった?/特集2: 緊急アンケート報告「国立博物館・美術館、文化財研究所などの民営化?決定!」
	6	38	特集: 美術館の写真、写真の美術館: 横浜美術館、東京都写真美術館、東京国立近代美術館フィルムセンターの学芸員が語る、日本の写真と美術館の現在
	8	39	特集: 博物館や美術館とは、何だったのか? そして、誰のためにあったのか?: 国際シンポジウム「21世紀における文化展示の構築をめざして」公開シンポジウム・ドキュメント
	10	40	特集: 展覧会カタログを「見物」する
	12	41	特集: 「教育的な展覧会」の可能性/緊急特集: 美術史学会東支部シンポジウム「国立博物館、美術館、文化財研究所などの独立行政法人化について」ドキュメント

DOME:特集名一覧

[1992-2000](#)
[2001-2006](#)

年	月	号	特集名
1999	2	42	特集1: 川村記念美術館「なぜ、これがアートなの?」展が仕掛けたもの/特集2: トヨタ・アートマネジメント講座千葉セッション「アートで人を育てよう!」公開シンポジウム・ドキュメント
	4	43	特集: この国は、まだ「天心の夢」の中にいる: 茨城県天心記念五浦美術館/特集2: 茨城県天心記念五浦美術館開館記念シンポジウム「天心と近代日本美術のあゆみ」完全採録
	6	44	特集1: 市民が参加してつくった展覧会: 平塚市美術館「幻想植物園」展の新鮮度/特集2: ビオトープは生きているミュージアム
	8	45	特集: アートが変わる、社会が変わる: トヨタ・エイブルアート・フォーラム東京セッション
	10	46	特集: 海外の国立博物館・美術館の「民営化度」最新データ・ブック
	12	47	特集: ひろしま美術館の「ゴッホのドービニーの庭」、静岡県立美術館の「東アジア/油画の近代」展、岡山県立美術館の「常設展観察日記」をめぐる3つのエピソード
2000	2	48	特集: 21世紀の美術館像を求めて: 第1回美術館教育国際学術シンポジウム・レポート(台北市立美術館)
	4	49	特集: だからがんばる、サンショウは小粒でもビリリッと館!
	6	50	特集: 学芸員の腕前拝見、ここまでやるぞ、ミュージアム・コレクション展!: 板橋区立美術館、千葉市美術館、川村記念美術館が、自館のコレクションでつくった一味ちがう展覧会
	8	51	特集: ミュージアム・カタログから展覧会や時代の気配を読みとるのだ
	10	52	特集: 「情報公開」・「市民参加」・「エンタテインメント」・「センター」がキーワード?: 独立行政法人時代のミュージアム像を求めて
	12	53	特集: 博物館は何かができるか: 兵庫県人と自然の博物館
2001	2	54	特集: 一味ちがうぞ、エデュケーショナル・エキジビション
	4	55	特集: 緊急シンポジウム 独立行政法人化で何がかわるか: 博物館・美術館の将来を考える(江戸東京博物館)
	6	56	特集: 子どもたちが、自分で博物館に出かける日
	8	57	特集: 「博物館評価」という怪物がやってくる!?
	10	58	特集: ワタリウム美術館「子どもたちの100の言葉」の幸福
	12	59	特集: 世田谷美術館の工夫が光る展覧会 「地物」はおいしい、こくもある
2002	2	60	特集: お待たせしました、これが福岡のミュージアム・エデュケーション最前線!
	4	61	特集: アートプロジェクトに、学芸員実習に、地域とふれあう大学生パワー
	6	62	特集: ニューヨークーロンドン: ミュージアム・エデュケーション進行形
	8	63	特集: 民博変わった? 民博変わった!
	10	64	特集: チルドレン! チルドレン!
	12	65	特集: キュレーションが光る、ちょっと味のある展示
	2	66	特集: デジタルしてる? ミュージアム: ミュージアムの入り口が、ほらここにも
2003	4	67	特集: 昭和30年代再現展示、懐かしさのチカラ(師勝町歴史民俗資料館、松戸市立博物館、名古屋市博物館)
	6	68	特集: 空もでっかい、ほっかいどう。: 北海道のミュージアム・エデュケーション最新情報
	8	69	特集: 「もう一つのミュージアム」と「もう一つのスクール」(札幌彫刻美術館、水戸芸術館現代美術センター、浦安市郷土博物館)
	10	70	特集: まちやミュージアムをツアーする楽しみ
	12	71	特集: アーティストとミュージアムの、新しい関係?
2004	2	72	特集: 芦屋市立美術博物館の、存在感
	4	73	特集: ミュージアムとNPOの、幸福な屋下がり
	6	74	特集: 初夏のミュージアム、のんびり散歩
	8	75	特集: 話題のシンポジウム「美術館・博物館はなぜ必要か?」ほぼ完全収録!
	10	76	特集1: フツーのことを、いつでもきちんと/特集2: 歴博変わった? 歴博変わった!
	12	77	特集: ドキュメント 川崎市市民ミュージアム改革の行方
2005	2	78	特集: 住民や利用者とともに育つ、やわらかな公共施設
	4	79	特集: こうあるべきだのミュージアム像から、少し離れて
	6	80	特集: まちはミュージアム! 初夏の東京観光文学散歩
	8	81	特集: ようやく産みの苦しみをともなうミュージアムが出てくる時代に: 美術史学会東支部大会シンポジウム: 美術館・博物館の新たな公共性を求めて: 指定管理者制度・NPO・地域社会
	10	82	特集: 東博変わった? 東博変わった! 目に見える変化のラッシュ。合言葉は「観客のために!」
	12	83	特集: 全国のおもしろ「カタログ+セルフガイド+ドキュメント+広報」大集合
2006	2	84	特集: 山梨県立博物館がいじあむのバースデー

※84号で終刊